▼アリムタ注射用　［注］

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】　【一般製剤名】ペメトレキセドナトリウム水和物（U）　Pemetrexed Sodium Hydrate　【分類】抗悪性腫瘍剤［代謝拮抗剤］

【単位】▼100mg・▼500mg/V

【常用量】1 回 500mg/m2 を 10 分間かけて点滴静注し少なくとも 20 日間休薬を 1 コースとし，それを繰り返す．■悪性胸膜中皮腫に対してはCDDP と併用■副作用軽減のため葉酸，ビタミン B12 を投与する［詳細は添付文書参照］

【用法】溶解・希釈には生食を使用し，10 分間かけて点滴静注

【透析患者への投与方法】禁忌（1）

【その他の報告】データなし（17）

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr 45mL/min 未満の患者ではデータがない（1）重度の腎機能障害患者には投与しないことが望ましい（1）

【その他の報告】Ccr 45mL/min 未満には避ける（FDA）

Ccr 45mL/min 未満の患者では血球減少が発現しやすい（辻井聡容，他: 日病薬誌 48:719-23, 2012）

Ccr の低下度に応じて AUC 増大（U）

Ccr 45 以上なら減量の必要はないが AUC は増大（U）

安全性を考慮して腎機能に応じた減量を行っても有効性が損なわれるため適正量設定が困難（Boosman RJ, et al: Int J Cancer 2021 PMID: 34181276）

腎クリアランスの寄与率 84%程度であるため腎機能評価が重要で，第 3 スペースの存在が消失遅延に関連（de Rouw N, et al: Clin Pharmacokinet 2021 PMID: 33420970）

標準法に比べ腎機能を組み込んだ AUC ベースの投与量補正によっても PK や安全性，QOL などのエンドポイント達成は改善しなかった（de Rouw N, et al: Cancer Chemother Pharmacol 2023 PMID: 36413252）

【特徴】葉酸代謝拮抗剤．複数の葉酸代謝酵素を同時に阻害し，中皮腫，非小細胞肺癌に適用される．必ず葉酸及びビタミン B12 を併用投与する．

【主な副作用・毒性】骨髄抑制，感染症，間質性肺炎，ショック・アナフィラキシー，下痢，脱水，腎不全，血糖上昇，めまい，感覚異常，ほてり，潮紅，消化器症状など多数．

ホモシステインやメチルマロン酸高値例で重篤な副作用の発現率が高い（Niyikiza C, et al: Mol Cancer Ther 2002 PMID: 12479273）このため，葉酸でホモシステインを低下させ，ビタミン B12 でメチルマロン酸を低下させる予防策が適用される（パンビタン 1g/日など））

【安全性に関する情報】急性尿細管壊死と間質線維化を伴う AKI の発生が報告されている（Chauvet S, et al: Clin Nephrol 82: 402-6, 2014 PMID: 24424085）サードスペース増大例には注意［投与前にドレナージ考慮］（U）

【モニターすべき項目】CBC，肝・腎機能

【代謝】代謝をほとんど受けない（1,U）

【排泄】尿中未変化体排泄率 75.2%［72hr まで］（1）尿中未変化体排泄率 70～90%［24hr］（U）

【CL】91.6mL/min（Latz JE, et al: Cancer Chemother Pharmacol 57: 401-11, 2006）Ccr 90 以上で 91.8mL/min（U）

【t1/2】2.7hr（1）3.5hr（U, Latz JE, et al: Cancer Chemother Pharmacol 57: 401-11, 2006）

【蛋白結合率】81%［高濃度では低下］（1）

【Vd】10.6～14.8L/man（1）Vc=12.9L/man，Vt=3.38L/man（1）

【MW】597.48

【透析性】資料なし（1）

【O/W 係数】資料なし（1）【薬物動態】2-コンパートメントモデルに適合（Latz JE, et al:　Cancer Chemother Pharmacol 57:401-411, 2006）線形動態（U）

【相互作用】NSAIDs 例では骨髄抑制，腎機能障害，消化器障害に注意（U）

【更新日】20231130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。